

令和6年(2024年)10月15日(火)開催

ゆるつな講座

「大人も子どもも『つながる』まちを目指して」

今年7月に須坂市内の地域公民館で通学合宿が実施され、須坂市、地域おこし協力隊、公民館関係者、社会教育委員、小学校、高校、大学生等がそれぞれの立場で関わり合いながら合宿を盛り上げました。高校生が合宿運営に主体的に取り組む様子から教師が学んだこと、高校生自身が感じたことを今回の通学合宿をテーマとして語る場を設けます。また、マナビステーションを会場にすることで、短時間でも興味のある先生方が耳を傾けられるスタイルを作りつつ、縁側のようにゆるくつながる環境で学びます。

(受講者数6名)



〈研修内容〉

○発表

演 題 「高校生による実践発表」

発表者 通学合宿に参加した須坂東高校生



○座談会

発表者 須坂東高等学校

教諭 片山 斐人 氏

須坂市教育委員会学校教育課 井上 陽介 氏

受講者アンケートから

- 子どもたちが本物の学びをしていることを知り、仕事にも家庭にも伝えていきたい内容でした。(県・国職員)
- 大人でも大変な行事をやり切ったことはとてもすごいことだと思います。ぜひこれからの自信にしてください。(学校教職員)
- 子ども、関わる大人、この話を聞いて関わる大人、様々な立場の話を聞けました。こういう大人の姿を多くの子どものに見せていきたいです。(県・国職員)
- 発表スライド、原稿、写真や動画、音楽等の編集、計画や検討、リハーサル、当日だけでなく今回の活動のその全てが今後生きる力になっていると思います。4泊という中身の濃い内容だったからこそ伝えたいことも多くなったのだろうと思います。発表の中で、最初は固まって動いていた高校生もだんだんそれぞれ自分で動けるようになったという話があったと思います。ここがすごく大事なところで、そうなったきっかけやそこで感じた事などをお互いに交流しあって自分自身の動きや関わりなどを自覚化できると、きっと次に繋がって行くと思います。(県・国職員)